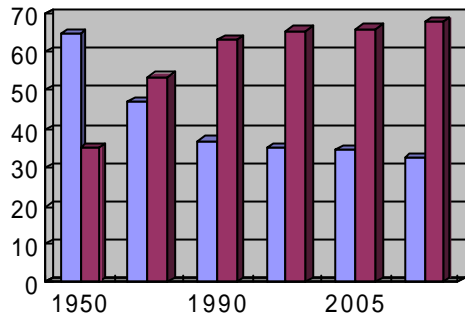


# 町村CIR：「いなか最高！！かな～？」

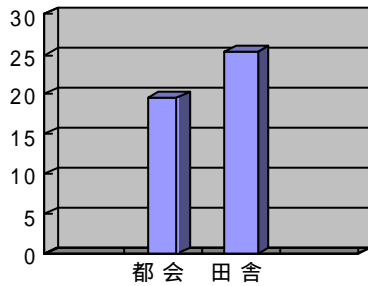
フラウケ・ケンプカ（大分県） パトリシア・パン（石川県）

## ● 田舎と都会住民の割合



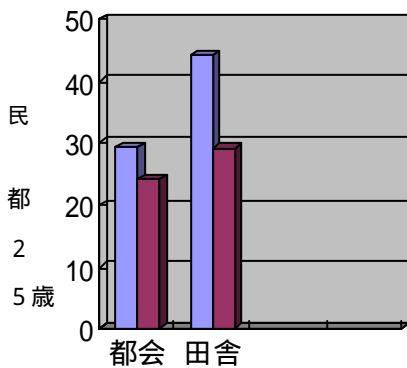
都会人口：1990年：63.1%  
 2000年：65.2%  
 2005年：65.7%  
 2015年：67.7%

## ● 人口の高齢化



都会：19.5%、田舎：25.4%

## ● 依存割合



「依存割合」= 60歳以上と15歳以下の住民と勤労住民の割合

会60歳以上：29.4、15歳以下：4.1、田舎60歳以上：44.1、15歳以下：29.1

田舎地域では高齢者が多くて、ほとんど自分で生計を立てていない。そのため、勤労住民に依存することが多くなり、勤労住民の負担が大きくなっている。

その状況は社会、経済、文化にもかなり強い影響を与えています。

### 田舎地域の経済的な状況

- \* 昔から農業は田舎地域で主な産業でしたが、現在 5%に過ぎない。
- \* その代わりに、他の産業（例えば、建設産業や介護福祉事業など）が勤め先として重要になりました。
- \* しかし、農業も、建設も、福祉関係の施設も公費で支えられている産業です。そのため、税金、国庫補助金を減らそうとしている現在の政策によって、田舎地域の経済的な状況は厳しくなっているとも言えます。

### 田舎地域の社会と文化的な状態

- \* “ Emigration of rural areas not only <reduces> the youthful and most energetic cohorts, but it also removes those with initiative...”
- \* 田舎から都会に移るのは行動力のある青年が多いため、人口が減るだけでなく、新しいアイデアを実現する意識も希薄になります。
- \* それによって、昔のような生活、考え方が残るところが多く、田舎地域の小さい世界はさらに小さくなっていきます。
- \* その結果として住民団結などといういいところもあれば、昔のような男女の上下関係などというあまりよくないところもあります。
- \* 以上の理由により、田舎地域では次ぎのような特徴を持つところが多いです。都会でもうなくなった伝統文化が生きている；イベントは大体お年寄り向き；映画館やクラブなどの娯楽施設は少ないです。

それを見て田舎地域で勤務している C I R には何が出来るのでしょうか、住民に何をしてほしいのでしょうか、自分でどんな行動を起こしたらいいのでしょうか？